都市再生整備計画 事後評価シート 長津田駅周辺地区

平成26年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川	県	市町村	寸名		横浜市		Н	也区名		長洋	津田駅周辺4	也区	面積	52ha		
交付期間	平成21年度~平	平成24年度	事後評価等	実施時期		平成25年度		交付対	村象事業費		2,205百万	国費率	0.4				
	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業提案事業	市道長津田12 満足度調査	9号線拡幅整	· 经備、市道長津田	164号線拡幅	整備、区画街路1-	号線拡幅整	備、区画道路改修	事業名 る、緑区民文化セ	ンター整備						
		20010 7 210			事業	名			削除/追加の理由				削除/追加による目	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から	基幹事業	区画道路改修			ਜ				業にて実施したた	め。			満足度調査の指標に関連するが、事業全体を考慮した結果、指 及び数値目標は据え置くこととする。			
1)事業の実施状況	削除した 事業	提案事業	満足度調査						最終年度に残工事	₮があるため効果排	巴握の時期として適	切でないため。	指標及び数値目標への影響	響なし。			
	新たに追加し	基幹事業	長津田駅北口	步行者専用記	通路				より安全で快適な	歩行者ネットワー	ークを構成するため	か 。	満足度調査の指標に関連す 及び数値目標は据え置くこと		と考慮した結果、指標		
	た事業	提案事業															
	交付期間 の変更	当 初 変 更		1年度~平成 1年度~平成			間の変更による、数値目標への						_				
		指標	1 /%2		従前(,	目標値		数 值		目標 達成度	1年以内			フォローアップ 予定時期		
2)都市再生整備計画 に記載した目標を	指標1			人/日	0人	<u>基準年度</u> H20	7,000人	<mark>目標年度</mark> H26	モニタリング	測定不能	上风伎	あり	事後評価の確定時点において されない見込みのため測定不 運行が可能な都市基盤や区目 整備に伴うバス利用者数の増 ただ、運行予定のバス事業者 行本数が想定未満のものとな ない見込みとなった。	「バス運行が実施能であるが、バス 民文化センターの加は見込まれる。 との調整の中で運	平成27年3月		
定量化する指標の達成状況	指標2	区民文化セン 数	民文化センターの利用者		0人	H20	75,000人	H26		75,027人	0	あり なし	当初計画どおりの区民文化セ たことによる。平成25年10月5 り、地域の文化活動機会の増	日より開業してお	平成27年6月		
	指標3	満足度調査	度調査		1	H20	1.2	H26		1.2046	0	あり なし	歩道の設置されたゆとりある近たことで満足度が向上した。区開業、歩行者専用通路の完成さらなる向上が見込まれる。	区文化センターの			
-> (-) W/ (-) (-)		指 標		単位			目標値		数 モニタリング	値 評価値	目標 1年以内の 達成度※1 達成見込∂				フォローアップ 予定時期		
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1			_	0	H20				+0.3166			これまでバス運行のなかった」 ら、地区近隣の徒歩圏内の住 てもブラスの評価数値がです 満足度が得られている。遠方で 多く想定される方々にはさらに 込まれる。	民への調査におい おり、一定程度の のバス利用がより	平成27年3月		
4)定性的な効果 発現状況	街が新しく生まれる道路整備により歩																
					実施内容			和士声生物	供計画に記載し	実施状況			今後の	対応方針等			
	モニタリ	ング	都市再生整 都市再生整					整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載はなかったが、実施した 整備計画に記載したが、実施できなかった									
5)実施過程の評価	住民参		①住民参加による ②現場見学会 ③事業区域開放I ④地元自治会への	こよる地元商店	街活動支援			都市再生整 都市再生整	備計画に記載し、 備計画に記載はな 備計画に記載した	なかったが、実施 こが、実施できなか		O ħ	民主体のまちづくり活動への支援	主体のまちづくり活動への支援			
	持続的なま 体制の権							都市再生整	備計画に記載し、 備計画に記載はな 備計画に記載した	なかったが、実施							

様式2-2 地区の概要

長津田駅周辺地区(神奈川県横浜市) まちづくり交付金の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 日標値 評価値 北口バス利用者数 単位: 人/日 0 H20 7.000 測定不能 単位: 人/日 H20 75.000 H25 区民文化センターの利用者数 0 H26 75.027 駅北口再開発や駅前広場整備にあわせ、駅周辺の都市基盤の整備や文化施設の整備を行い、安全で快適な歩行者 ネットワークの形成や新たな地域の文化活動の活性化を図る。 H25 単位: H20 H26 満足度調査 1 1.2 1.2046 北口バス運行に伴う満足度調査 単位: H20 ± 0.3166 H25

■市道長津田129号線拡幅整備





■長津田駅北口歩行者専用通路整備事業



整備中(イメージパース)







■区画街路1号線拡幅整備



■緑区民文化センター整備



外観

ホール

住民参加による アート作品

ホワイエ

まちの課題の変化 ・これまでの駅前が

- ▶駅周辺の道路網が整備され、朝夕の交通混雑等が改善し歩車ともに通行の安全性が向上した。
- ・これまでの駅前が低、未利用だった状況が改善し、都市型住宅による約200世帯の集積された。また商業施設や区民文化センターができることで駅前の賑わいや文化的機能が創出された。
- ・地域の文化活動の拠点となる区民文化センターが整備され、特色のあるまちづくりにも繋がる文化芸術活動が始まっている。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

- ・「市道長津田34号、129号拡幅整備事業」や「長津田駅北口線」整備など、周辺道路について必要に応じて整備可能な場所を着実に整備していく。
- ▶・区民文化センターを地域文化の振興を図る拠点として地域社会全体にアートをもって貢献できるよう活用していく。

都市再生整備計画 フォローアップ報告書 長津田駅周辺地区

平成28年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4一① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

	指標。	,		目標値	事後評価					計測時期	フォローアップ・時	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
	拍 惊	単位	従前値	日保胆	評価値	見込み・確定 の別	目標達成度 1年以内の 達成見込み		よる確定値	可测时期	点での達成 度	理由	改善策の方向性	松石州兒	
指標1	北口バス利用者数	人/目	0人	7,000人	測定不能	確定 見込み		あり なし ●	1514人	H27年2月	Δ	本数が想定未満で	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	バスへのニーズはあるが運行本数が少なく 目標数値に達しなかった。その後、運行本数 が増える等、徐々に見直されている。	
	区民文化センターの 利用者数	人/年	0人	75,000人	75,027人	確定 見込み ●	0	あり なし	106,614人	H27年6月	0		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値の1.4倍となった。下半期の方が 利用者数が多く、地域に浸透し、多くの 方に利用され始めている。	
指標3	満足度調査	_	1	1.2	1.2046	確定 見込み ●	. 0	あり なし	1.3495	H27年2月	0		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	道路整備や歩行環境の改善が満足度の向上に寄与した。区民文化センターが出来た効果も見られた。	
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

*フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

<u> 1824 (6)</u>	ての他の数値指摘	ボヘンルドソビ												
	指標		従前値	目標値		事後評	価		フォローアップ゜に	計測時期	フォローアップ 時点での達成		と比較して大きな差異があ きが見られない場合等	総合所見
	1日 1宗	単位	化制电	山宗世	評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	引则时期	度	理由	改善策の方向性	松口門光
その他の 数値指標1	北口バス運行に伴う 満足度調査	_	0		+0.3166	確定 見込み ●			-0.1362	H27年2月		ス運行本数の少なさが	口 改善策に補強が必要	回答属性をバス利用者に限ると+0.0769とプラスの評価(最高点+2)となり、利用者にとっては一定程度の評価がある。
その他の 数値指標2						確定 見込み				H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の 数値指標3						確定 見込み				H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
			· ·	· ·					1		•	·	,	1

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4一③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

	77 X 1 V 7 E 19 V 7/6			
	ト 添付様式5ー③に記載した Dまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
		道路管理者による適切な維持管理は行っているが、駅利用者の 交通マナー違反等が多くみられるため、地元の住民の方や地元 の警察署、道路管理者で議論をした。		交通マナーの啓発。
・成果を持続させるために 行う方策	区民文化センターによる文化的機能の創出	横浜市都市計画マスタープラン緑区プランへの位置付け。	「文化振興の拠点となる区民文化センターを中心に、文化・芸術イベント等を開催し、地域住民が身近に文化・芸術に触れあえる環境の創出を図ります。」と明記。	区民文化センターをより多く利用してもらえるよう、周知を図る。
改善策	広域的な道路ネットワークの拡充	未整備となっている周辺の都市計画道路に関連する検討を実 施。	周辺の都市計画道路の概略や課題を整理した。	道路整備の事業性、実現に向けた方策の検討。
・まちづくりの目標を達成するための改善策・残された課題・新たな課題への				
対応策・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-3から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

を がっだえきしゅうへん 長津田駅周辺地区

神奈川県 横浜市

[・]様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府	府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	長津田駅周辺地区			面積	52 ha
計画	期間	平成 2	年度 ~	平成 25	5 年度	交付期間	平成	21 年度 ~ 平成	24	年度

日標

駅北口再開発や駅前広場整備にあわせ、駅周辺の都市基盤の整備や文化施設の整備を行い、安全で快適な歩行者ネットワークの形成や新たな地域の文化活動の活性化を図る。

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況

長津田駅は、JR横浜線、東急田園都市線及びこどもの国線の乗換駅として1日約12万人の乗車人員を数える、本市北部の主要な交通結節点となっています。

しかし、駅周辺は駅前広場や道路等の公共施設が未整備のまま市街地が形成されており、交通安全や防災などの面で問題になっています。

また周辺の奈良、あかね台及び長津田みなみ台では大規模な土地区画整理事業が実施されており、駅の利用圏の人口増加に見合った拠点としての役割が期待されています。

は、これらの課題に対処するため、駅北口では市街地再開発事業等による借びくりの検討を行っており、南口では駅前広場や道路の整備を、それぞれ進めています。 駅北口では平成19年12月に長津田駅第一種市街地再開発事業が都市計画決定され、事業化が進められているほか、周辺の公共施設整備についても検討が進められています。

また駅南口では都市計画道路長津田駅南口線の都市計画決定が平成13年に、事業認可が平成14年に行われ、事業が進められています。

- 駅周辺の都市基盤の整備
- (駅周辺の駅前広場や周辺道路等が未整備のため、朝夕の交通混雑等により歩車ともに通行上危険な状態にある)
- 駅前の都市機能の集積
- (特に駅北口においては、低・未利用地が広がっており、駅前の賑わい等を生むと土地利用がされていない)
- ・特色あるまちづくりの一環としての文化芸術活動の強化
- (地域の文化活動の拠点となる施設の整備)

将来ビジョン(中長期)

・横浜市都市計画マスタープラン・緑区プラン

日標を定量化する指標

_								
	指 標	単 位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
	北口バス利用者数	人/日	公共施設・駅周辺の核施設整備による北口バス利用者数の増加を集計	公共施設整備によりバス機能等が拡充することにより駅利用者が 増加	0人	H20	7,000人	H26
	区民文化センターの利用者数	人/年	文化施設の整備による施設利用者数を集計	核施設の整備により、地域の文化活動機会の増加	0人	H20	75,000人	H26
	満足度調査	_	住みやすさや暮らしやすさについてアンケートを実施	都市基盤・都市機能の整備により、まちの魅力が増加する	1	H20	1.2	H26

都市再生整備計画の整備方針等

		
計	画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
	駅周辺の道路整備等により交通環境を改善し、安全で快適な歩行者ネットワークの形成を図る	市道長津田129号線拡幅整備
		市道長津田164号線拡幅整備
		区画街路1号線拡幅整備
		長津田駅北口歩行者専用通路整備
	特色あるまちづくりの一環としての文化芸術活動の活性化を図る	緑区民文化センター整備
そ	D他	
	· 	

交付対象事業等一覧表

交付対象	事業費	2,205 交作	才限度額		882	国	貴率	C).4	l			(全類の誰	単位は百万
手業													(並領の年	
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)	事業期間 終了年度	交付期間 関始年度	内事業期間 終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち足負担分	交付文 事業
道路	和关口	市道長津田129号線拡幅整備	横浜市	直	約170m	19	25	21	24	662	662	662	プラス英語が	
		市道長津田164号線拡幅整備		直	約150m	19	25	21	24	170				
公園		区画街路1号線拡幅整備	横浜市	直	約150m	19	25	22	24	47	47	47	 	
公图									1					
·														
河川 下水道									 			-	 	
上小足 駐車場有効和	利用システム								+			1		
地域生活基盤	盤施設 人口地盤	長津田駅北口歩行者専用通路	横浜市	直	約50m	24	26	24	24	283	283	283		
高質空間形成		緑区民文化センター整備	## 15 	去	約3000㎡	22	24	24	24	1.043	1.043	1.043	 	1
<u>高次都市施訂</u> 既存建造物活	<u>投 地域交流C</u> 舌用事業	秋区氏文化センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	横浜市	直	#J3000m	22	24	24	24	1,043	1,043	1,043		
都市再生交通	通拠点整備事業													1
土地区画整理										ļ			 	1
市街地再開発 住宅街区整備	光争 <u>美</u> 農東業								-				 	ı
地区再開発									 			1	i	I
人にやさしい	まちづくり事業													
優良建築物等	等整備事業 Thu 上眼 & Fu								ļ — I	ļ			 	ı
住宅市街地	拠点開充堂 沿道等整備型								+					i
総合整備 事業	沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型								†					
尹未	耐震改修促進型										ļ		1	
街なみ環境整									ļI	ļļ		ļ	 	1
住宅地区改良 都心共同住宅	2.供給事業								+			-		
公営住宅等團	整備								†					ı
都市再生住宅	宅等整備									ļ			 	1
<u>防災街区整价</u> 合計	扁争美									2,205	2.205	2.205	0	
事業										2,200	2,200	2,200		
事業	/m-T C	事業箇所名	事業主体	直/間	規模		事業期間		内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付
	細項目 郷土歴史博物館整備事業				.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業
	歩行者空間整備事業	-		+				-	+				l -	
地域剧逗	都心居住推進事業								 			1		
支援事業	チャレンジショップ整備運営事	業												
the alle are the	******									ļ				
事業活用 調査	事業効果分析事業								-	<u> </u>				
	コミュニティバス社会実験								+					
	タウンモビリティ社会実験								1					
まちづくり活	オープンカフェ社会実験													
動推進爭業	市民ワークショップ								ļI	ļļ		ļ	<u> </u>	
	まちづくり勉強会								+			-	 	
合計										0	0	0	0	
													合計(A+B)	
的関連事業			alle > 11		40.1#		(เ.งฮภ	かにの)		事業	期間	A (1 alle -++)	1	
	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	直轄		かに〇) 地方単独	民間	開始年度	終了年度	全体事業費	1	
市街地再開発		長津田駅北口地区市街地再開発事業			約2.2ha		0			平成19年度	平成27年度	18,380	1	
< A - 由 - 4 - 4 - 1 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5	投整備事業	長津田駅南口線整備事業	横浜市	国土交通省	140m		0		ļ	平成14年度	平成28年度	5,860	1	
	2. 敢 供 重 举	古塔自油田等94日線 100日線光時代中本条	+共 : 仁士											
交通安全施設		市道長津田第34号線、129号線道路拡幅事業長津田駅南口バリアフリー事業			約300m 1笛所		0	0	 	平成22年度	一 亚成23年度	500 200		
	设整備事業	市道長津田第34号線、129号線道路拡幅事業 長津田駅南ロバリアフリー事業 区画道路改修			約300m 1箇所 約60m		0	0		平成22年度 平成22年度 平成22年度	一 平成23年度 平成24年度	500 200 12		

12 24,952